

ビスホスホネートと誤嚥：呼吸困難

Prescrire Int. May 2026 Vol.35 No.281 page132(翻訳と解説は本誌)

経口ビスホスホネート製剤は胃腸粘膜を刺激し、食道炎や潰瘍形成、食道狭窄のリスクを伴います。これらのリスクを最小限に抑えるためには、錠剤をコップ一杯の水で嚥まずにそのまま飲み込み、服用後少なくとも30分間は横にならないこと、が重要です[1]。これらの薬剤は、誤嚥した場合に呼吸器系の潰瘍を引き起こすリスクがあり、深刻な結果を招く可能性があります[2,3]。

例えば、70代の女性がアレンドロン酸70mg錠剤（誤

合や、鎮静作用のある薬剤や錐体外路障害を引き起こす薬剤を服用している場合に多く発生します[3]。

実地診療

ビスホスホネート錠を誤嚥すると、咽頭や呼吸器系に損傷を与える重度の化学熱傷を引き起こす可能性があります。（医療者が）ビスホスホネート製剤の使用を検討する際には、患者に誤嚥のリスクがないことを確認す